



菩提寺まちづくり協議会 平成 28 年度総会 が開催されました!!

5月22日(日)13:30より、菩提寺まちづくりセンターにて、平成28年度通常総会が代議員の出席多数で成立し、厳格に開催されました。山口道夫会長の挨拶に続き、来賓を代表されて谷口繁弥副市長がご挨拶をされました。井上光生議長の進行のもと平成27年度活動報告と決算報告・監査報告が承認されました。

その後、退任役員を代表して龍池副会長が挨拶を述べられました。役員推薦委員会の鶴飼孝副委員長から平成28年度役員の推薦があり承認されました。



議案第5号として「平成28年度会長方針」を木ノ下会長より説明され、質疑・応答を経て多数により承認されました。

次に平成28年度事業計画と予算計画が担当により説明が行われ、事業ごとに審議を得て多数により各事業が承認されました。そして、平成28年度予算案の審議は活発な質疑・応答が行われ、多数により承認されました。



議案第8号として「指定管理事業」の平成27年度決算と28年度予算が報告され、最後に、中野副会長から2時間30分審議をして下さった代議員の方、退任役員の方への感謝と、御来賓、傍聴者の皆様に御礼を述べられ、閉会となりました。

菩提寺まちづくり協議会 会長方針

1. 《 あってよかった菩提寺まちづくり協議会 》

イベントだけでなく、区を超えての諸問題の解決に向けて区長会と連携し、各区に必要とされるまちづくり協議会・まちづくりセンターとしていきます。

2. 《 区で行うよりも学区全体で行う方がより効果が高いものを実施 》

市の交付金・助成金・補助金及び各区負担金を有効に生かし、限られた財政での有効な運営を行っていきます。

各区の住民の要望を見つめ、また区を超えてのまちづくり協議会の活動を見つめて、活かしていきたいと考えています。

3. 《 住民目線で 》

活動を担う役員・委員に成り手が無い状況があるので、もっと携わりたい(参加したい)人が増えるよう情報公開をして菩提寺まちづくり協議会を知って頂くよう努めていきます。そして、どんどん御意見を頂きましたと考えています。

広報活動としてのホームページ・まちづくり協議会だよりを住民目線での役割にしていきます。委員会活動は各区参加で運営が基本理念ですが、経年と共にバランスが崩れてきているので見直しが必要です。自治会はそれぞれ独立して活動しています。その上における菩提寺まちづくり協議会の役割を原点に戻って考えながら運営します。

4. 《 地域での他の団体との協働 》

縦割りの団体活動でなく、協働し合える菩提寺まちづくり協議会を模索していきます。

福祉・安全委員会 平成28年度の事業予定

9月4日（日曜日） 防災先進地研修開催予定

行き先：兵庫県三木市防災公園

内容：過去に大震災を体験した兵庫県に県全体をカバーする広域防災拠点があります。災害時は広域防災拠点とした機能し、平常時は、消防職員や消防団員、地域防災リーダーの育成をはじめ地震体験や、煙避難体験などの防災体験学習や訓練を実施しています。

今回、施設の見学と訓練の体験を計画しました。

参加費用：1,000円（予定）

参加対象：菩提寺学区、菩提寺北学区の防災担当者

募集：7月に各自治会様経由で行います。

文化芸術委員会 平成28年度の事業予定

今年度も3つの柱で計画をしています。

1. まちづくりセンター内の歴史文化資料室の維持管理をする。
企画展示等で展示内容の充実を図り。歴史講座を開催する。3回/年。
2. 歴史の小径、及び霧降の瀧、散策路の整備
散策路の草刈り、階段等の整備、案内板の設置。
3. 歴史の伝承と新しい菩提寺との融合
菩提寺に伝わる行事の記録を映像で残す。DVD化して行く。

※歴史に興味のある方、一緒に参加してみませんか。



地域活性化委員会

竹林整備を継続実施

バンブーハウスを中心に竹林整備に取り組み、4年が経過しました。滋賀県立大学生の協力のもと年々施設は充実しています。今年度はきらめき湖南の事業と協力して維持管理しながら、一步前進させて、住民の皆様が、気軽に『散歩できる環境づくり』、子供が遊びに来て、『自然と触れ合え、憩いや楽しみのある場所』にしたと考えます。竹林へは5月だけで、奈良県王寺町から42名が視察研修に、県立滋賀大学から勉強を兼ね25名が見学、ボーイスカウト15名、また地元菩提寺こども園から55名の方が団体で遊びに来てくれました。

市内外から多くの方が見学に来られる一方、菩提寺学区での認知度が必ずしも高いとは言えません。これからはイベントの開催や広報活動にも力を入れます。

竹林でタケノコ、シイタケ、ヒラタケ、カブト虫を育成して、安価に販売することで、住民の皆様喜んでいただき、また、まち協の財源に少しでも寄与し、これを成長させビジネス化する方向で進めます。

地域活性化委員会ではこの他にエコ・環境事業として各家庭での生ごみリサイクルを推進して、回収ゴミを削減し、肥料を造る事業を進めています。

皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

平成28年度きらめき湖南地域活性化推進事業

今年度のきらめき湖南事業は、昨年度に続き、「菩提寺周遊散策広場整備事業」とし、まちづくりセンターから菩提寺公園を通過、菩提寺山に入り、頂上の竜王社から歴史の小径に降りる道を整備し、さらに菩提寺山の麓の神社、寺院を巡り、竹林を通りまちづくりセンターに戻る周遊コースを完成させる事です。

きらめき湖南事業は今年度で市からの交付金は最後となります。竹林整備（B・B大作戦）から始まり、今回の周遊散策広場で完了となりますが、せっかく整備し、出来上がった物を今年度限りで終わってし

まうと、その後の維持をするのが困難になります。そのためのシステムを作り上げて行く事が、もう一つの目標です。これにはまち協だけでなく、多くの人の協力が必要となってきます。

菩提寺にある、各自治会や多くのボランティアの方の協力を得、出来るだけ皆の負担を少なくして、いつまでも次の世代に引き継いで行けるようなシステムを目指します。

きらめき湖南地域活性化推進事業

プロジェクトリーダー

田中秀明



王寺町視察研修

5月9日(月)に、奈良県北葛城郡王寺町自治連合会の方々と王寺町長の42名が、菩提寺まちづくり協議会が2012～2014年の3ヶ年「きらめき湖南地域活性化推進事業」として取り組みました「B・B大作戦」のバンブーハウスの視察研修に来られました。

菩提寺まちづくりセンター多目的ホールにて、松本区長のパワーポイント説明できらめき湖南プレゼンテーション集約版を見ていただいた後、ご質問やご意見をたくさんいただきました。

その後、あいにくの雨でしたが竹林に出向いてバンブーハウスを視察されました。最後に、歴史資料室の案内をさせていただき、帰路につかれました。

私どもも各地域の事例を勉強して生かしていきたいと思います。質疑の中で、維持管理をどうしていくのかの課題はありましたが、地域の活性化という点では一定の評価をいただきました。



菩提寺まちづくりセンター長より

はじめまして、5月より菩提寺まちづくりセンター長を拝命いたしました山本でございます。“野洲のおっさん”を地でいく野洲市民でございます。菩提寺の皆様よろしく申し上げます。本年度は菩提寺コミュニティセンターもオープンして、大変忙しくなると思いますが、老体にむち打ち、茶道は嗜みませんが、『一期一会』のおもてなしの心で、できる限り皆様のお声を反映させていきたいと思っております。

当まちづくりセンターは、菩提寺の皆様のさまざまなまちづくり活動の拠点として昨年4月にスタートしました。これからも、まちづくりの基本理念である「市民が主役のまちづくり」を推進していくため、地域の皆様のさまざまなまちづくり活動を微力ながらお手伝いして参りたいと思っております。当センターが、小さなお子様からお年寄りの皆様まで、たくさんの方々の交流の場となり、菩提寺の皆様が強い絆で結ばれるようにと願っております。



菩提寺コミュニティセンターより

今年4月にオープンして以来、現在6団体のサークルさんが登録されて、ご利用していただいております。まだまだ貸館には余裕がありますので、皆様のご利用をお待ちしております。また、この度、湖南省市に、当センター前の駐車場とランド入口付近との段差を無くし、きれいに整地していただきました。皆様のお越しをお待ちしております。

菩提寺地区通常総会開催

平成28年5月15日（日）菩提寺コミュニティセンターにて、第1回菩提寺区通常総会（区長：鶴飼孝）が開催されました。

谷畑市長はじめ、鶴飼八千子市議会議員、菅沼利紀市議会議員にご来賓頂き、華やかに開催する事が出来ました。

意見交換も活発に行い、菩提寺区規約の制定を承認して頂けることとなりました。

これからも、活気ある菩提寺地区を目指していきたいと思っております。



菩提寺まちづくりセンターからのお願い

菩提寺コミュニティセンター（旧菩提寺公民館）では、廃食用油、使用済乾電池など家庭用ゴミの回収はして
おりません。

なお、**廃食用油**（フタがネジ式のペットボトルに入れる）、**白色トレイ**（他の色トレイはダメ）、**使用済乾電池**、**牛乳パック**の家庭用ゴミに限り、**菩提寺まちづくりセンター**で回収しています。

みなさまのご協力をお願いします。